

# 【作業指示書】ピーマン袋詰め作業 (青果部門)

---

## ■ 作業概要

ピーマンをスタンド袋3号へ適量(目安5~6個)詰め、  
値付けハカリで値札を貼付するまでの一連の作業を対象とする。  
売り場陳列時に倒れにくく、見栄えが良く、異物混入のない安全な売り物を作る。

---

## ■ 対象製品

- ・青果用ピーマン(段ボール入荷品)
  - ・使用袋:スタンド袋3号(自立する透明袋)
- 

## ■ 使用する物

- ・スタンド袋3号
  - ・値付けハカリ(ピーマンコード:0032)
  - ・ハカリ用ラベルロール
  - ・薄手のゴム手袋(手に傷がある場合など、必要に応じて着用)
- 

## ■ 許容範囲(品質基準)

- ・袋詰め個数:基本5~6個
    - スカスカの場合:7個以上も可
    - ぎゅうぎゅうで形崩れしそうな場合:4個以下でも可
  - ・袋が自立し、売り場で倒れないこと
  - ・台車コンテナに置く際、向きを揃え、担当者が品出ししやすい状態にする
  - ・異物(髪の毛・葉カスなど)混入がないこと
  - ・値札の表示:産地・価格・商品名が正しいこと
- 

## ■ 作業手順

## 1) 事前確認

1. 段ボール箱の表記から「産地」を必ず確認する。
2. その日の「販売価格」を責任者に確認する(毎日変動するため)。
3. 値付けハカリのラベル残量を確認し、必要に応じて交換する。

## 2) 作業工程(袋詰め)

1. ピーマンに傷み・腐敗・割れがないかを確認し、不良品を除外する。
2. スタンド袋3号を開き、形がきれいに見えるよう向きをそろえてピーマンを入れる。
3. 目安は5～6個。ただし:
  - ・袋がスカスカ → 7個以上
  - ・袋がパンパン → 4個以下
4. 最終的に袋が自立し、売り場で倒れにくい状態になるように詰める。

## 3) 仕上げ工程(値付け)

1. 値付けハカリでピーマンコード「0032」を選択。
2. 設定された「産地」と「価格」が正しいか確認する。
3. 最初の1枚を出力した際、表示内容(産地・価格)を必ず確認する。
4. ラベルを袋右上あたりに、曲がらないように貼付する。

## 4) 最終確認

1. 商品が自立しているか確認する。
  2. 袋の外側に水滴や汚れが付いていないか確認する。
  3. 異物(髪の毛・繊維・葉かす等)が袋内外に付着していないか確認する。
  4. 仕分け担当者が扱いやすい並び(向きをそろえる・詰めすぎない)になっているか確認。
  5. 中断後に再開する場合は、必ず再度「産地」と「価格」を確認してから値付けを行う。
-

## ■ 注意事項

- ・異物混入に特に注意する(髪の毛は最重要)。
  - ・袋を強く押し込みすぎるとピーマンが割れるため無理な詰め込みをしない。
  - ・値付け設定を誤るとクレームにつながるため、確認を徹底する。
  - ・産地は必ず段ボール表記を確認する。
  - ・値付け作業中断後の再開時は必ず設定の再確認を行う。
- 

## ■ 作業チェックリスト

- ☐ 産地を段ボールで確認した
  - ☐ 価格を責任者に確認した
  - ☐ ピーマンに傷みがない
  - ☐ 適正個数で袋が自立する
  - ☐ 異物混入がない
  - ☐ 最初の値札で産地・価格を確認した
  - ☐ 値札を袋右上に貼った
  - ☐ 中断後は設定を再確認した
- 

本作業は売り場での見た目に加え、商品内容の正確性(産地・価格)が非常に重要です。  
とくに値付けミスと異物混入がクレームにつながりやすいため、  
落ち着いて丁寧に作業してください。